

中国語および中国語圏社会事情 A

担当者	荒川 雪(アラカワ ユキ)				
年度	2022	授業コード	1500F35001	科目ナンバリング	
対象年次	3~4	授業形態	語学(会話以外)	単位数	2
時間割	春火3	開講キャンパス	白山	教室	6 3 1 4 教室
主たる使用言語	語学系科目		実務教員科目		
授業科目区分					
授業回数					
受講対象学科					

【サブタイトル】

中国語および中国語圏社会、政治、文化の基礎知識を学ぶ

【講義の目的・内容】

本講義は中国語学習経験に関係なく、中国語未修者から上級者までの学生を対象とした授業です。また日本や海外から中国と中国語圏の社会文化を講義するため、中国人留学生を含む、各国からの留学生も履修可能です。中国は1978年から改革・開放政策を開始し、40年間以上の改革を経て、経済は目覚ましく発展し、社会も大きく変容してきました。いまでは、世界とりわけアジア地域に大きな影響力をもつ大国の一つとなっています。2010に中国のGDPは世界2位になり、中国人も大国としての自負と責任感を持ち始めました。しかし、経済大国になった中国は、多くの問題をなお抱えています。それらの問題は、中国および中国語圏の国や地域、さらに全世界の発展に大きな影響を及ぼしています。

この授業では、中国語および中国語圏の国や地域の歴史、政治、社会、文化などの問題に関する話題を毎回の授業で取り上げ、まず教員による解説、背景説明をしてから、学生との討論を行うことで、理解を深めたい。授業の内容に合わせて、適宜に映像資料を使用したいです。

履修者全員は上級中国語の学習を希望する場合、中国語圏社会文化を学びながら、上級中国語の勉強もできるようにします。

【学修到達目標】

1. 中国語（漢字とピンインなど）の歴史、基礎知識を習得します。
2. 現代中国の歴史、政治、社会、文化への理解を深めます。
3. 中国語圏の国や地域をめぐる政治、社会、国際事情に対する理解を深めます。

【講義スケジュール】

- 第1回 オリエンテーション、中国語および中国語圏社会事情に関する概説
- 第2回 中国の理解のしにくさ、中国語と中国語圏文化の多様性
- 第3回 近代までの世界及び日本の中国認識と中国に対するリアルな接触のギャップ
- 第4回 2000年の皇帝制度と共和制中国の針路
- 第5回 中国国民党と中国共産党、日中戦争と国共内戦

- 第6回 中華人民共和国の成立と戦後中国をめぐる国際環境の急激的な変化
- 第7回 新民主主義から急速な社会主義へ、大躍進と文化大革命
- 第8回 国連加盟と日中・米中国交正常化
- 第9回 社会主義建設から改革開放へ
- 第10回 鄧小平から江沢民へ、民主化と「法の支配」
- 第11回 高揚する中国ナショナリズムと胡錦濤・習近平体制下の動き
- 第12回 変化する中国の社会と教育
- 第13回 変化する中国の社会とメディア
- 第14回 世界へ移動する中国の人々
- 第15回 まとめと期末課題

【指導方法】

スケジュールに書いた各回の授業テーマにそって中国語および中国語圏の歴史、政治、社会、文化に関連するテーマを紹介し、関連問題について議論します。教科書とPower Pointを使つての授業となります。少人数の講義の場合、教員の説明の後に討論の時間を設けて、問題点を見つけて、議論できるように指導します。

【事前・事後学修】

授業内容を理解してもらうために、教科書の関連箇所を授業中に指示するので、必ず事前に読んでおくこと。また授業時に教員が指示した課題についても必ず締め切りまでに提出してもらいます。事前事後学習は毎週1時間程度必要です。

【成績評価の方法・基準】

期末試験 50%

平常点（授業中の議論への参加、提出課題など）50%

★成績評価は東洋大学の成績評価の基準に準拠する。

【受講要件】

中国および中国語圏の社会、文化における興味があるが学生なら、だれでも授業できます。授業中の議論へ積極的に参加してもらいたい。

【テキスト】

光田剛編『現代中国入門』筑摩書房、2017年(1000円)

【参考書】

三瀧正道 / 陳祖蓓 / 古屋順子『時事中国語の教科書 2022年度版』朝日出版社、2022年
川島真・小嶋華津子編著『よくわかる現代中国政治』ミネルヴァ書房、2020年。

【関連分野・関連科目】

【備考】

【添付ファイル1】

【添付ファイル2】

【添付ファイル3】

【リンク】